

線形代数学第 1 - 中間試験問題 -

電子情報学類 1 年生 (1 組)

平成 2 1 年度前期 - 2009.6.3 -

1. 次のベクトル, 行列の計算を行え. 計算が不可能な場合は「計算不可」と答えること.

$$(a) \begin{bmatrix} 1 & 2 & -1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} -1 \\ 2 \end{bmatrix} \quad (b) \begin{bmatrix} 3 \\ -2 \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 & -4 & 1 \end{bmatrix} \quad (c) \begin{bmatrix} 3 & -1 \\ 4 & -2 \\ -1 & 3 \end{bmatrix} + 3 \begin{bmatrix} -2 & 0 \\ -2 & 3 \\ -1 & 4 \end{bmatrix}$$

$$(d) \begin{bmatrix} 2 & -1 \\ -1 & 2 \\ 3 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} -1 & 3 & 2 \\ 2 & -1 & 3 \end{bmatrix} \quad (e) \begin{bmatrix} 3 & -2 & 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 3 \\ -2 & -1 \\ -1 & 2 \end{bmatrix} \quad (f) \begin{bmatrix} 2 \\ -1 \\ 4 \end{bmatrix} + 2 \begin{bmatrix} 3 \\ -1 \\ 5 \end{bmatrix}$$

2. ガウスの前進消去に関して以下の問に答えよ.

(a) 第 1 行を a 倍して第 2 行から引く行列を E_{21} , 第 1 行を b 倍して第 3 行から引く行列を E_{31} , 第 2 行を c 倍して第 3 行から引く行列を E_{32} とする. E_{21} , E_{31} , E_{32} を求めよ.

(b) E_{21}^{-1} , E_{31}^{-1} , E_{32}^{-1} を求めよ.

(c) $L = E_{21}^{-1} E_{31}^{-1} E_{32}^{-1}$ を求めよ.

3. 次の連立方程式をガウスの前進消去と後退代入により解け. 前進消去の途中で行の交換が必要となる場合は, この行の交換を行う行列 P を求めよ.

$$\begin{bmatrix} 1 & -2 & 1 \\ -2 & 4 & -1 \\ -1 & 1 & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} u \\ v \\ w \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -1 \\ 2 \\ 0 \end{bmatrix}$$

4. 次の行列を LDU に分解せよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -2 & 0 \\ 2 & -1 & 1 \\ 1 & 0 & 3 \end{bmatrix}$$

5. 次の行列の逆行列を Gauss-Jordan 法により求めよ.

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 \\ -1 & 0 & 1 \\ 2 & -1 & 1 \end{bmatrix}$$

6. 3×3 行列 A の行ベクトルを a_1^T, a_2^T, a_3^T とする. $c_1 a_1 + c_2 a_2 + c_3 a_3 = 0$ を満たす c_i が零のみであるとき, A の逆行列が存在することを証明せよ (ヒント) ガウスの前進消去により A を U に変換したとき, U の第 1 行は a_1^T , 第 2 行は $d_1 a_1^T + a_2^T$, 第 3 行は $e_1 a_1^T + e_2 a_2^T + a_3^T$ と表される. 但し, $d_1 \neq 0, e_1 \neq 0, e_2 \neq 0$ であると仮定する. 逆行列の計算は, Gauss-Jordan 法によれば, A を単位行列 I に変形することと同じである.

7. 対角要素が 1 である下三角行列 A の逆行列は対角要素が 1 である下三角行列であることを証明せよ. 3×3 行列の例を用いて, $AB = I$ を満たす B を求めよ.